

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月3日

【評価実施概要】

事業所番号	2970103129		
法人名	医療法人健和会		
事業所名	グループホームふれあい東九条		
所在地	奈良市東九条町886-1 (電話) 0742-50-0025		
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会		
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1		
訪問調査日	平成20年2月28日		

【情報提供票より】(20年2月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 6 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	14人	常勤 7 人, 非常勤 7 人, 常勤換算	11.8 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	1 階建ての 階 ~ 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 350000円	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1600 円		

(4) 利用者の概要(2月9日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	5 名	要介護2	6 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 86.5 歳	最低	75 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	奈良東病院
---------	-------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広い前庭は南に面し大変日当たりが良く、そこには花が植えられベンチが置かれており、人の通りや行きかう車を眺めながら憩える場所になっています。事務室を共通として2ユニットが対称型に位置し、屋内はすべてバリアフリーで、リビングは窓も大きく明るく、どちらのリビングにも季節柄お雛様が飾られています。利用者の明るいお顔がケアの質の良さの何よりの証明と思われます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 地域にとけ込む意味でも自治会に加入、職員の休憩場所を事務室内に確保、ホーム便りの作成、相談窓口の掲示などが改善されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 従前は全職員で取り組まれていましたが、今回の自己評価は時間の関係で、管理者一人で作成されています。また、外部評価を活かして自治会の加入、相談窓口の掲示、ホーム便りの作成などの改善が見られます。実践の振り返り、再認識の機会にもなることから、職員全員が関って、自己評価を作成されるよう望みます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 行政、地域包括支援センター、民生委員、家族、職員の参加の下、ホームの状況や外部評価について報告し、活発に意見交換がなされています。会議で出た意見はサービスの質の向上に活かされています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関に意見箱を設置し、外部者の苦情、相談窓口として市等の公的機関が掲示されています。家族の訪問時には職員から声かけを行い意見が出やすい雰囲気作りがなされています。出された意見、要望はミーティングで話し合い、運営に反映されています。市等公的機関の相談窓口は名称だけの案内なので電話番号を書き添えるよう望みます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会に加入し、町内行事の清掃に参加したり、地域の福祉関係の喫茶店に出かける他、小学校の運動会を見学する等地元の人々と交流されています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『人との温かいふれあいの心』を大切に< 地域社会利用者中心の医療、看護、介護 地域社会への貢献 研究心と向上心を持つ 和を尊ぶ>の4つを基本方針とした法人の理念をホームの理念にされています。		地域密着型サービスとして何が大切かを考え、事業所独自で作り上げた理念が求められます。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念が実践に活かされているか振り返る機会とし、職員は毎日の朝礼時に理念を唱和し、日々のケアに反映するよう心がけられています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、町内行事の清掃に参加したり、地域の福祉関係の喫茶店に出かける他、小学校の運動会を見学する等地元の人々と交流されています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	従前は全職員で取り組まれていましたが、今回の自己評価は時間の関係で、管理者一人で作成されています。また、外部評価を活かして自治会の加入、相談窓口の掲示、ホーム便りの作成などの改善が見られます。		実践の振り返り、再認識の機会にもなることから、職員全員が関って、自己評価を作成されるよう望みます。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政、地域包括支援センター、民生委員、家族、職員の参加の下、ホームの状況や外部評価について報告し、活発に意見交換がなされています。会議で出た意見はサービスの質の向上に活かされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の窓口に出向き分からないことを尋ねたり、詳しい情報をもらう等市町村担当者と連携し、共にサービスの課題解決を図っていくよう努められています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的にはホーム便りを請求書と共に月一回家族に送られています。家族には、面会時や担当者会議等の機会を捉え、面会の少ない家族には電話等で暮らしぶりを報告する様努められています。		ホーム全体の暮らしぶりは伝えられていますが、個々の利用者一人ひとりの暮らしぶりについて一言でも書き添えることで更に家族は安心されるのではないのでしょうか。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し、外部者の苦情、相談窓口として市等の公的機関が掲示されています。家族の訪問時には職員から声かけを行い意見が出やすい雰囲気作りがなされています。出された意見、要望はミーティングで話し合い、運営に反映されています。		市等公的機関の相談窓口は名称だけの案内なので電話番号を書き添えるよう望みます。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者へのダメージ防止のため、異動は最小限に抑えられています。職員の交代に関しては馴染みの職員が、対応するよう配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修が定期的であり全職員が計画的に参加し、法人外の研修は参加しやすいよう経費等の援助がされています。毎月の職員会議や勉強会で研修内容を報告されています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人内のグループホームと交流があります。地域の他のグループホームとの交流が地域包括支援センターの協力を得てもなく実現の予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用希望者はホームで家族、本人と面接し、利用日は午前からホームに入り、家族も一緒にお茶、食事をして時間をかけて馴染めるよう工夫されています。</p>		<p>利用に際しては、面接日と利用日当日だけで馴染みの関係を作るのは難しいと思います。お茶、食事を共にする機会を増やすなど、職員、他の利用者、ホームに徐々に馴染めるよう更なる工夫を期待します。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ケア上の問題や個人的に落ち込んでいる時、利用者から『大丈夫よ』などと慰めてもらったり、利用者の経験豊かな話から学ぶことが多くなる場面作りの支援をされています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族や職員との話、利用者同士の話の中から等日々のかかわりの中で、一人ひとりの思いや希望を把握されています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員、パートの意見、訪問された家族の意見を入れて介護計画が作られています。</p>		<p>訪問された家族の意見は取り入れられていますが、訪問の無い家族の意見を聞く機会を作る等、家族の意見要望を反映した介護計画を作成されるよう望みます。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的には3ヶ月に一度の見直しがあります。それ以前に利用者に状態変化が生じた場合には実情に合った見直しがされています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の『入院せず、馴染んだこのホームで最後を迎えたい』との要望を受けホームで看取る他、家族が都合が悪い時は職員が通院介助する等柔軟な支援がなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、原則利用前のかかりつけ医とされています。本人、家族の希望があれば協力医院をかかりつけ医とされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用時には緊急時の対応について説明されていますが、終末期の対応については、状況が変化してきた時点で話し合いに入るようにされています。		グループホームでの暮らしの延長線上にある終末期のことは出来る限り早い時期に、ホームとしての終末期の対応として定められた『看取りの指針』を家族に説明し、同意を得ることが大切です。また、終末期になれば主治医、家族、管理者、スタッフ全員でのカンファレンスを行い対応されるよう期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の利用者に対する言葉かけはさりげなく、口調もやさしく丁寧に対応されています。個人情報のファイルは部外者に目に触れないよう目隠しのある棚に置く等適切に管理されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	寝坊されていても無理に起こさず見守りつつ時々声かけをされています。アクティビティの参加や入浴も希望に沿って出来るよう一人ひとりのペースに合わせ支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立に利用者の意見も取り入れ、買い物にも出かける他、後片付けや食器洗い等も夫々利用者の力に合わせ職員と一緒にされています。食事中はBGMが静かに流れ、ゆったりとした気分で食事を楽しめるようされています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間になれば入り口に暖簾が掛けられ、雰囲気作りをされています。広い洗い場、壁面のタイルには所々花柄があり、ホッとくつろげるきれいな浴室です。長時間入浴希望の方、一番風呂が希望の方など各々利用者の希望や心身の状態を考慮して支援されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	昔から得意とされていた縫い物や編み物などをされています。食事の後片付けの食器洗いや洗濯物たたみなど出来ることで役割を果たせるよう、利用者個々の活力を引き出す場面を作り支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	建物の周りを一周出来るようされている他、前庭は広くベンチも設置してあり、日当たりも良いので日向ぼっこを兼ねて気持ちのいい外気浴が出来るよう工夫されています。また散歩やドライブ、外食や喫茶に出かけられています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関や門扉は施錠されず、ドアチャイムとモニター及び見守りで安全を確保されています。		利用者の安全管理への配慮から、チャイムとモニターが設置されていますが、利用者の自由な暮らしを支援するためそのあり方を検討されてはいかがでしょうか。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回昼のみでなく夜間も想定した避難訓練がされています。業者の点検時を利用して通報訓練もされています。		事業所のみで訓練されていますが、消防署の指導を受け更に充実した訓練が望まれます。また警察、地域の協力も実際に得られるよう連携を図る取り組みを望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事内での水分、10時、3時のおやつ時の水分、入浴後の水分補給は職員がすべて確認し、各個人でペットボトルに水を入れて居室に置き、いつでも飲めるようにされています。栄養バランスも考慮されており、食事も記録し栄養摂取状況を把握されています。		一日の水分量として各人十分に摂取できているとは思いますが、職員間で情報を共有する意味でもきっちり記録として残されるよう望みます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ユニットのリビングに季節感を醸し出よう雛人形を飾り、大きな明るい窓際にはゆったりしたソファが置かれ居心地の良い安心感のある場所になっています。家族の協力で利用者も一緒に作られたお手玉、布ぞうり、籐かごなどの作品をさりげなく配置する等生活感に配慮されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	孫の写真、目覚まし時計、たんす、椅子、数多くの本等馴染みのものが持ち込まれ居心地よく過ごせるよう工夫されています。		